

国の支援施策等について

令和8年7月9日

九州経済産業局 地域経済部 製造産業課

目次

1. 自動車サプライヤーへの支援(ミカタプロジェクト)について
2. 中小企業施策について
3. 参考（自動車サプライヤー支援報告書）

1. ミカタプロジェクトについて

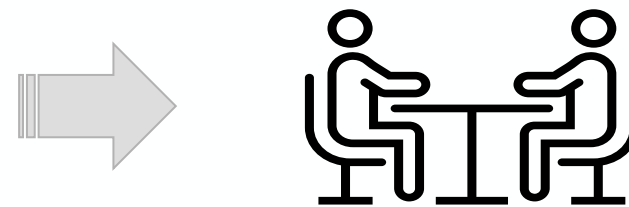
- 令和4年度から実施されている、中堅・中小サプライヤーの「味方」としてサポートする事業。
- 九州では(公財)福岡県中小企業振興センターに設置。令和5年度からは(公財)北九州産業学術推進機構 (FAIS)にも、全国初の「サテライトオフィス」を設置し、体制を拡充。



(1) サプライヤー企業からの相談対応



(2) 専門家派遣



(3) 最新情報を提供するセミナーの開催



(4) 電動車部品のイベント展示・
無償貸出





資本金3億円以下または従業員2,000人以下 の中小・中堅自動車部品サプライヤー

関税措置や規制動向等の自動車産業を取り巻く事業環境、事業構造や車両構造の変化等による国内産業・経済への影響を踏まえ、中堅・中小の自動車部品サプライヤーに対して「新事業進出」や「事業成長」等に向けた支援を実施する経済産業省の事業です。

九州地域においては、日本国内有数の自動車生産拠点でもあることから、特に、様々な生産性向上に特化した支援を行っています。



巡回・ヒアリング

→ 専門家選定

→ 現場派遣・アドバイス

企業の費用負担はゼロ。年度5回まで専門家を派遣可能。



生産性向上全般支援

専門家派遣による個社に
合わせた伴走支援



DX（IoT・AI活用）

専門家派遣による個社に
合わせた伴走支援



カイゼン

専門家派遣による個社に
合わせた伴走支援



情報・サイバーセキュ リティー

専門家派遣による個社に合わ
せた伴走支援



現場改善支援

製造現場の課題を専門家が診
断し、カイゼン手法を活用した
具体的な改善策を提案します。



経営相談全般

売上拡大・資金繰り・人材育成
など幅広い経営課題に対して、
専門家が対応します。

※ すべての支援について企業の費用負担はゼロです。

圧倒的な支援実績と次なる焦点

相談実績

395件

(2022年度～2026年1月末)

専門家派遣企業数

72社

(2022年度～2026年1月末)

専門家派遣回数

184回

(2022年度～2026年1月末)

プロジェクト開始以来、約500社の企業を巡回訪問し、生産性向上・事業転換等の経営課題に対する専門家派遣支援を継続しています。

令和8年度は「生産性向上」をキーワードに、さらに相談・支援件数の拡大を目指します。

今後の最大の課題：「人手不足」と「新しい波」

これからの製造現場において、限られた人員で最大の成果を出す仕組みづくりは急務です。

ミカタプロジェクトでは、これまでの「現場改善（カイゼン）」による土台作りに加え、新たにIoTやAIを活用した省力化・デジタル化支援を本格スタートします。

令和8年度における九州拠点主催セミナー 今後の予定等

8/20 熊本市(ハイブリッド開催)

令和8年8月20日(木)
13:00～16:30

熊本城ホール大会議室A4
(熊本県熊本市中央区桜町3番40号)

スケジュール

13:00～13:05

開会挨拶 熊本県 商工労働部 産業支援課 課長 小松 篤史氏

13:05～14:35

「製造現場の儲かるDXは難しくない
ー IoTと生成AIで始める“見える化”とカイゼン」

木村 哲也氏

(旭鉄工株式会社／i Smart Technologies株式会社 代表取締役社長)

【プロフィール】

東京大学大学院修士修了後、トヨタ自動車にてトヨタ生産方式を学ぶ。2013年旭鉄工(株)に転籍し、2016年代表取締役社長に就任。自社開発IoTでカイゼン活動を徹底し、利益10億円増、電力使用量42%削減を実現。IoTシステムやカイゼンノウハウを提供するi Smart Technologies(株)を設立。著書に『付加価値ファースト』(技術評論社)がある。



14:35～14:45

休憩

14:45～16:15

「自動車サプライヤーの経営・営業力強化
～激動の時代を生き抜く新規顧客開拓と事業企画～」

松井 拓夫氏

(株式会社ティムネット 代表取締役)

【プロフィール】

1978年トヨタ自動車工業株式会社入社。人事、米国NUMMI出向を経て、ブラッセルTME副社長、トヨタ自動車株式会社常務役員を歴任。2011年よりシロキ工業株式会社取締役社長として経営を牽引。2019年に株式会社ティムネットを設立。生産管理、海外事業企画、人事、工場運営、経営全般に精通し、豊富な知見に基づいた支援を展開している。



熊本セミナー(8/20)の申込みはこちら ⇒



○その他の予定

・福岡県直方市(対面のみ)

日時:2026年 8月5日(水) 13:30～15:30

場所:直鞍産業振興センター(ADOX福岡 別館)

テーマ:現場改善、AI活用、SNSによる販路拡大

・佐賀市(ハイブリッド開催)

日時:2026年11月5日(木)13:00～16:30

場所:ホテルグランデはがくれ

テーマ:DX、情報セキュリティ

・大分県中津市(ハイブリッド開催)

日時:2027年1月20日(水)

場所:ヴィラルーチェ アンジェラ

テーマ:自動車最新トレンド、DX等

今後詳細が決まりましたらこちらのページに掲載予定
(ミカタプロジェクト 九州地域支援拠点)

<https://www.joho-fukuoka.or.jp/ev.html>



目次

1. 自動車サプライヤーへの支援(ミカタプロジェクト)について
- 2. 中小企業施策について**
3. 参考（自動車サプライヤー支援報告書）

(参考) 中小企業施策について



(1)「中小企業施策ガイドブック」を活用

https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/g_book/index.html

【活用のポイント！】
インデックスを確認し、利用者のニーズに適した融資・補助金・相談、セミナー等を探ることが可能。

2026年度版中小企業施策利用ガイドブック



- 全文 PDF (32.9MB)
- 1. 中小企業の定義について PDF (616KB)
- 2. 利用の手引き PDF (895.0KB)
- 3. 目次・インデックス PDF (1.3MB)
- 4. 経営サポート PDF (14.4MB)
- 5. 金融サポート PDF (3.0MB)
- 6. 財務サポート PDF (1.2MB)
- 7. 商業・地域サポート PDF (989.6KB)
- 8. 分野別サポート PDF (1.1MB)
- 9. 相談・情報提供 PDF (1.8MB)
- 10. お問い合わせ先一覧 PDF (2.4MB)
- 11. 索引 PDF (591.3KB)



中小企業施策利用ガイドブック インデックス

支援制度	① 技術開発に取り組みたい	② これから創業したい
融資・リース・保証	SBIR制度に基づく技術開発 認定情報処理支援機関(スマートSMEサポーター) 新たな事業活動を支援する融資制度等	創業支援貸付利率特例制度 新規開業・スタートアップ支援資金 女性、若者、シニア起業家支援資金 産業競争力強化法に基づく創業支援 新たな事業活動を支援する融資制度等 信用保証協会による借換保証制度 創業関連保証制度
	新事業進出・ものづくり商業サービス補助金 成長型中小企業等研究開発支援事業 デジタル化・AI導入補助金 地域未来投資促進法による支援	産業競争力強化法に基づく創業支援 小規模事業者持続化補助金(創業型) 起業支援ファンド 中小企業成長支援ファンド/中小企業経営力強化支援ファンド/中小グループ化・事業再構築支援ファンド 中小企業投資育成株式会社による投資 ディーブテック・スタートアップ支援事業 ローカル10,000プロジェクト(地域経済循環創造事業交付金) 地方創生起業支援事業 地域未来投資促進法による支援 地域雇用開発助成金(地域雇用開発コース) 早期再就職支援等助成金(中途採用拡大コース)
補助金・税制・出資		
情報提供・相談	公設試験研究機関(公設試) デジwith プロフェッショナル人材事業	スタートアップに向けた知財アクセラレーション事業「IPAS」 スタートアップ特化型知財ネットワーク構築事業「IP BASE」 プロフェッショナル人材事業
	セミナー・研修・イベント	スタートアップ特化型知財ネットワーク構築事業「IP BASE」
法律等に基づく支援	公設試験研究機関(公設試) デジwith 地域未来投資促進法による支援	地域未来投資促進法による支援 スタートアップ特化型知財ネットワーク構築事業「IP BASE」

インデックスに記載されている利用者のニーズ例:
①技術開発に取り組みたい ②これから創業したい ③経営の効率化や革新を図りたい ④他の事業者と連携し、新たな取り組みをしたい ⑤特許権などの知的財産権を活用したい ⑥事業を再生したい ⑦商店街の活性化、物流の効率化を図りたい ⑧ITを利活用したい 等 全18ニーズ

(参考) 中小企業施策について

(2)「ミラサポ」を活用

<https://mirasapo-plus.go.jp/>



【活用のポイント！】

現在公募中の補助金が目でわかる他、自社のお困り毎から活用できる補助金検索や、地域の補助金等を検索することも可能。

経済産業省 中小企業向け 補助金・総合支援サイト

このサイトは日本政府公式Webサイトで

補助金を探す ↓ 補助金について知る ↓ 自社の未来を考える ↓ 経営のヒント 動画でわかる補助金情報

最新情報

2026年06月26日 NEW
【メンテナンス告知】GビジネスIDのシステムメンテナンス

2026年06月18日
【補助金採択結果】デジタル化・AI導入補助金2026の補助事業者を採択

2026年06月18日
ミラサポplusのトップページ及び検索機能特設サイトをリニューアル

重要なお知らせ
2026年06月15日
中東情勢等を踏まえた中小企業・小規模事業者向け支援について

A 自社にあった補助金を見つける

B 地域の補助金・助成金を探す

人気の補助金

補助金・助成金などのチラシを見る

ミラサポPlusでできること

買上げ 最低賃金 対応 支援特設サイト

成長加速 マッチングサービス

3分でわかる! 忙しい人のための 補助金動画

A

自社に合った補助金を選ぶ

お困りごとから探す

業務効率化

- ✓生産効率を高めて、収益を改善させたい
- ✓省力化を進めて、人手不足を解消したい
- ✓IT・デジタル活用で、業務の無駄を省きたい

価格転嫁

- ✓人件費の増加を価格に反映させたい
- ✓価格交渉の根拠資料を作成したい
- ✓取引先が価格交渉に応じられない

事業承継

- ✓資金繰りを改善し、経営基盤を強化したい
- ✓会社を磨き上げ、次世代へ事業を繋ぎたい
- ✓M&Aで、第三者に引き継ぎたい

お困りごと

- ①業務効率化
- ②利益拡大
- ③価格転嫁
- ④経営改善・事業承継

B

地域の補助金・助成金を探す

STEP1 調べたい地域を地図からクリック

STEP2 対象地域の補助金情報が表示

北海道

STEP1

- ①調べたい地域をクリック
- ②キーワードを入力して検索(設備投資、AIなど)

佐賀 福岡 大分 山口 鳥根 鳥取 長崎 熊本 宮崎 山梨 東京 千葉 鹿児島 徳島 高知 香川 愛媛 和歌山 三重 愛知 山梨 静岡 神奈川

沖縄

選択地域をさらに追加

全国 海外

「省力化投資補助事業」の概要

申請受付期間:2026年7月上旬～下旬

- 人手不足解消に効果のある「省力化投資」を後押しする補助金。
- カタログ形式による簡易で即効性のある支援を行う「カタログ注文型」と、事業者それぞれの業務に応じたオーダーメイドによる省力化投資を幅広く支援する「一般型」の2類型を措置。

カタログ注文型

随時申請
受付中

一般（オーダーメイド）型

公募回制

申請受付期間:随時

補助対象となる事業

中小企業などが省力化製品を対象製品のリスト(カタログ)から選んで導入し、販売事業者と共同で「労働生産性 年平均成長率3%向上」を目指す事業計画に取り組むものが対象です。

中小企業などが省力化効果のあるオーダーメイド・セミオーダーメイド性のある設備やシステムなどを導入し、「労働生産性 年平均成長率4%向上」を目指す事業計画に取り組むものが対象です。

補助率と補助上限額

従業員数	補助率	補助上限額	大幅な賃上げを行う場合
5名以下	1/2 以下	500万円※	750万円※
6～20名		750万円※	1,000万円※
21名以上		1,000万円	1,500万円

従業員数	補助率※	補助上限額	大幅な賃上げを行う場合
5名以下	中小企業 1/2 小規模・再生 2/3	750万円	1,000万円
6～20名		1,500万円	2,000万円
21～50名		3,000万円	4,000万円
51～100名		5,000万円	6,500万円
101名以上		8,000万円	1億円

※令和8年3月19日の申請から、補助上限額を拡充

「デジタル化・AI導入補助金」の概要

申請受付期間：2026年3月30日～7月21日
(複数社連携IT導入枠のみ：～8月25日まで)

- IT導入補助金は、中小企業・小規模事業者等の労働生産性の向上を目的として、**デジタル化やDX等に向けたITツール（ソフトウェア、サービス等）の導入**を支援する補助金。
- 令和7年度補正予算分からは、「**デジタル化・AI導入補助金（旧：IT導入補助金）**」と名称を変更。詳細は調整中。

(以下、IT導入補助金2025の概要)

	通常枠	複数社連携 IT導入枠	インボイス枠		セキュリティ 対策推進枠
			インボイス対応類型	電子取引類型	
活用 イメージ	ITツールを導入して、 業務効率化やDXを推進	商店街など、複数の中小・ 小規模事業者で連携して ITツール等を導入	ITツール等を導入して、 インボイス制度に対応	発注者主導でITツール を受注者に共有し、 取引先のインボイス 対応を促す	サイバーセキュリティ 対策を進める
対象経費	ソフトウェア購入費、クラウド利用料（最大2年分）、 導入関連費（保守運用やマニュアル作成等のサポート費用と、 IT活用の定着を促す導入後の“活用支援”）も対象			クラウド利用料 （最大2年分）	サイバーセキュリティ お助け隊サービス 利用料 （最大2年分）
	単独申請可能なツールの拡大		ハードウェア購入費		
補助上限	ITツールの業務プロセスが 1～3つまで： 5万円～150万円 4つ以上： 150万円～450万円	(a)インボイス枠対象経費： 同右 (b)消費動向等分析経費： 50万円×グループ構成員数 (a)+(b) 合わせて3,000万円まで (c)事務費・専門家費：200万円	ITツール： 1 機能：～50万円 2 機能以上：～350万円 PC・タブレット等： ～10万円 レジ・券売機等： ～20万円	～350万円	5万円～150万円
補助率	中小企業：1/2 最低賃金近傍の事業者：2/3 (令和6年10月から令和7年9月の間で3か 月以上、令和7年度改定の地域別最低賃 金未滿で雇用していた従業員数が全従業員の 30%以上であることを示した事業者。)	(a)インボイス枠対象経費： 同右 (b)・(c)：2/3	～50万円以下：3/4 (小規模事業者：4/5) 50万円～350万円：2/3 ハードウェア購入費：1/2	中小企業：2/3 大企業：1/2	中小企業：1/2 小規模事業者：2/3

目次

1. 自動車サプライヤーへの支援(ミカタプロジェクト)について
2. 中小企業支援施策について
- 3. 参考（自動車サプライヤー支援報告書）**

3. 参考(自動車サプライヤー支援報告書)

- ◆ 経済産業省で推進しているミカタプロジェクト※が令和8年度で5年目の節目を迎えることを受け、九州の地域支援機関が連携し、九州における自動車産業の更なる成長に向けた議論を行うために、学識経験者、業界団体、支援機関等の有識者をメンバーとする「九州地域自動車サプライヤー企業支援勉強会」を開催。
- ◆ 九州における支援の状況や企業の課題、支援ニーズなどについて参加者からの意見を集約・整理し、自動車業界の変革の動きを踏まえ、今後サプライヤーに求められる取組や、九州における支援のあり方などについて報告書としてとりまとめた。

※ミカタプロジェクトとは、自動車の車両構造の変化等により影響を受ける中堅・中小サプライヤーの新事業進出や事業成長を支援するために令和4年度に開始された事業。

【構成メンバー】

座長(学識経験者)・・名城大学 経営学部 教授 田中 武憲氏

業界団体・・(一社)日本自動車部品工業会 技術顧問 松島 正秀氏

参画機関・・九州各県自動車産業振興担当課、九州管内外郭団体((公財)くまもと産業支援財団、
(公財)大分県産業創造機構、(一社)宮崎県工業会、(公財)北九州産業学術推進機構)

(事務局) 九州経済産業局

先進モビリティ産業総合支援センター((公財)福岡県中小企業振興センター)

【各回テーマ】

第1回目(10月27日):自動車産業の現状、サプライヤーに求められる取組、九州の自動車産業の特徴

第2回目(12月15日):九州におけるサプライヤーの支援ニーズ、支援の動向、支援の生声等

第3回目(3月 4日):九州で求められる取組や支援機関に求められる支援のあり方等

報告書目次 「九州の自動車サプライヤーに求められる今後の取組 及び行政機関等による支援のあり方に関する報告書」

1. 背景

2. 九州の現状、九州の地域特性・他地域との比較等

3. 九州における自動車関連企業への支援の概要

- (1)ミカタプロジェクトによる支援
- (2)九州における自動車関連産業振興組織等の設置状況・支援内容等

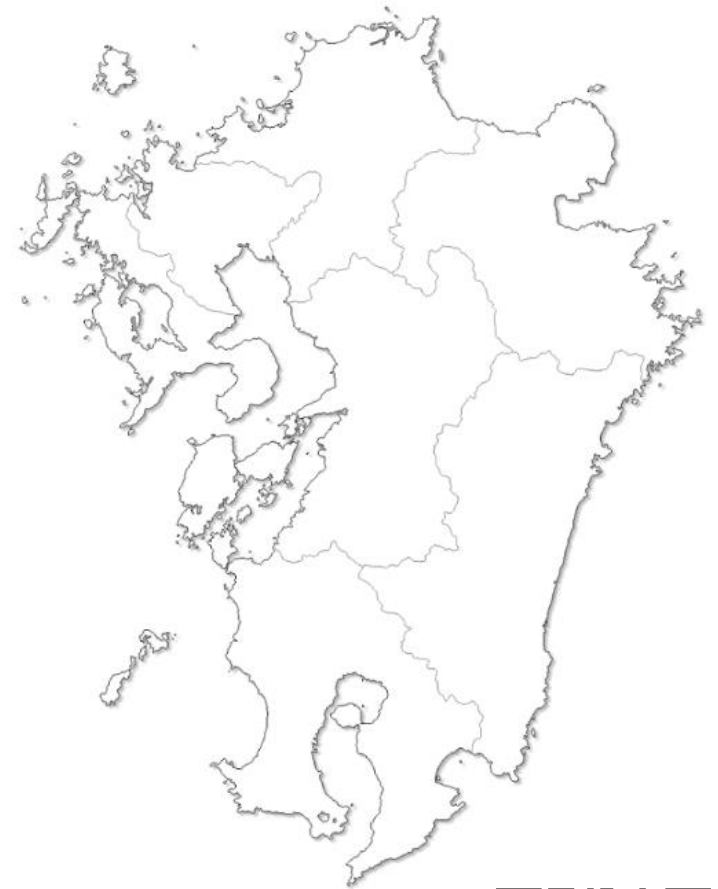
4. 企業の課題・求められる取組等

- (1)生産性向上及び経営基盤強化 (2)人材確保・定着、人材育成
- (3)取引の拡大及びサプライチェーンの強化 (4)設備投資を伴う生産体制・能力の増強

5. 今後の支援の方向

- (1)生産性向上及び経営基盤強化 (2)人材確保・定着、人材育成
- (3)取引の拡大及びサプライチェーンの強化 (4)設備投資を伴う生産体制・能力の増強

6. 総括



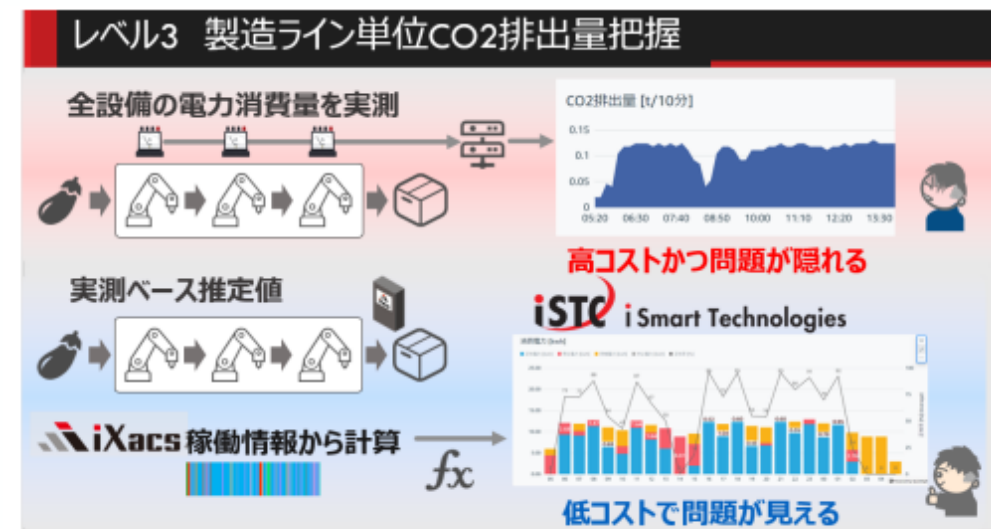
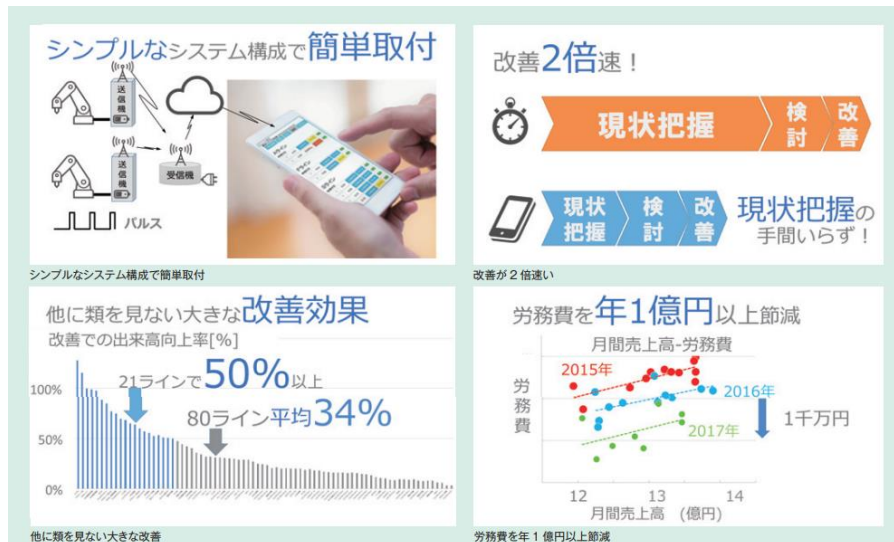
事例紹介(デジタル化・DX化) 株式会社戸畑ターレット工作所(北九州市)

- ◆ 株式会社戸畑ターレット工作所は、非鉄鍛造やアルミ鋳造等のコア技術に強みを有し、自動車や住宅設備向けに部品を提供する製造業で、コスト競争力や従業員の処遇面改善の両方を向上させるために2017年頃からDXとロボットの活用に着手。
- ◆ 導入当時、仕上げ作業はどうしても人間の手が必要で品質面での問題も残ったため、北九州産業学術推進機構(FAIS)に相談し、ロボットとIoT技術を組み合わせた生産進捗管理システムを開発。生産に関わるデータと動画を同時に記録し分析することで、人の作業による品質のばらつき、温度変化による品質のばらつきや異品混入などの不具合が確認出来るようになることで、真の原因の対策が可能となり、生産性と品質を飛躍的に向上させている。DXを社内に実装させるためには、DXを意識させないことが非常に重要だと言っており、IoTのスイッチ等は作業の動線上に設置する等、工夫を凝らしている。
- ◆ また、企業がDX化を推進するためには、システム開発費用やIoTの設備費用が課題になるが、同社は共同研究で開発した「YokaKit(ヨカキット)」、「IoT導入支援キット VerIII」を共同開発先である福岡県工業技術センターから無料ダウンロード出来るようにし、地域発展にも貢献している。



事例紹介(Iotデータの活用・AI活用等) 旭鉄工株式会社(愛知県)

- ◆ トヨタ自動車の1次サプライヤーである旭鉄工株式会社は、CASE、国内市場縮小、生産人口減少といった脅威に対応し、「人には付加価値の高い仕事を」をスローガンにIoTを起点としたDXを実現。
- ◆ IoTデータを活用することを前提に会社の仕組みを変え、労務費や電力使用料の削減を進めた結果、トータルで40～50億円規模の効果を生み出している。これら成功体験を他社展開するべくi Smart Technologiesという別会社を立ち上げ、IoTやコンサルティングサービスも提供している。
- ◆ さらに、生産プロセスの効率化の過程で開発した「iXacs」を用いて、電気使用量をモニタリングし、CO2排出量の削減にも取り組んでいる。ムダな電力を設備単位で可視化することで具体的な省エネ対策を明らかにし、工場全体のエネルギー効率を大きく向上させた。
- ◆ 近年は生成AIの活用も進め、製造ラインの稼働データに加え、社内に蓄積されたカイゼン事例や現場ノウハウをAIに取り込み、暗黙知を共有・活用できる仕組みを整備している。AIが現場データと過去の知見を基に確認すべき問題や観察ポイントを提示することで、管理者は問題探索に時間を費やすことなく、現場での判断と改善に集中できるようになっている。



(出所) 旭鉄工(株)

事例(従業員満足度の向上) タカハ機工株式会社(福岡県飯塚市)

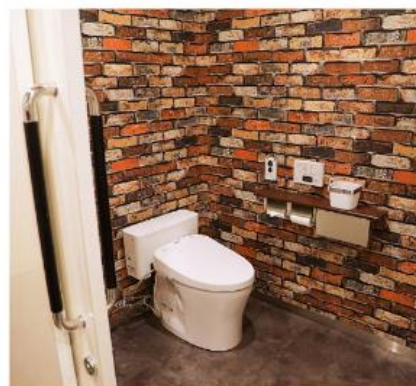
- ◆ 電子部品(ソレノイド)の一貫生産を行っているタカハ機工株式会社(福岡県飯塚市)では、女性が働きやすい職場環境を目指し、従業員に対してヒアリングを実施。新入社員のトイレが暗くて怖いという声を受け、若手職員を中心とした女子トイレプロジェクトを始動、女性のアイデアが詰まった空間は、従業員同士のコミュニケーションや気分転換の場になっている。
- ◆ これらの取組が評価され、新・ダイバーシティ経営企業100選にも選定されている。現在も女性活躍に関する取組は継続されており、パート社員のニーズを受けた託児所併設により、パート従業員の定着等により生産性の向上等の効果が出ている。



3つある個室のうち、1つはハートの壁紙。



広いパウダースペースでは、会話の時間もゆったりとく。



男性トイレの個室は広く、壁紙はレンガ調でかっこよく。



飾り棚には創業者である会長が作ったハリーダッドソンのディスプレイ。

1. 背景 自動車業界はCASEのみならず、SDV、AI搭載車など大変革の時代を迎えている。こうした中九州では、OEMの生産体制再編の大きな環境変化を迎えている。九州のサプライヤーはこれらの動きを見据え、「供給体制強化に向けた対応」が必要。

2. 九州地域の現状及び課題

(1)生産性向上/経営基盤強化

- ❑ 部品等の九州内での調達率の低さ
- ❑ コスト競争力の低さ
- ❑ 中核サプライヤー不足
- ❑ 経営資源が不足している企業が多い

(2)人材確保・育成

- ❑ 半導体企業進出等により人材確保が困難に
- ❑ 企業内の人材育成が不十分

(3)取引拡大・サプライチェーンの強化

- ❑ 九州内のOEM、Tier1に部品の調達権、研究開発機能がない
- ❑ 自動車分野へ新規参入する企業への取組が必要

(4)生産体制・能力の増強

- ❑ 今後OEMによる増産が見込まれる。
- ❑ 補助金情報が企業側に伝わっていない

3. 重点的取組

1)自動車版よろず支援機能の強化

(例:生産性向上支援、事業の多角化に向けた支援、人材の確保・定着支援、人材育成支援、企業の生産連携に向けた支援、自動車分野への新規参入、企業のブランドイメージ向上に向けた支援、補助金情報の整理、補助金サポート機能の充実)

2)中核サプライヤーの創出

(例:中核サプライヤー候補等への支援)

3)OEMやTier1との更なる連携強化による取組

(例:OEMやTier1等と連携した販路開拓、サプライヤーの保有情報等の見える化)

支援機関同士が連携した
「オール九州」での支援による
供給体制強化を実現

ご清聴ありがとうございました。

【本資料に関する問い合わせ先】

九州経済産業局 地域経済部 製造産業課

電話:092-482-5442

メール:bzl-kyushu-monodukuri@meti.go.jp